

# かわまた隆の活動報告

## もっと咲け桜川市と市民自治

2024年12月 第15号



今号は、12月市議会の内容と、今までも何度も掲載し、私が住民訴訟をしている、クラセル桜川に対する違法な支払いの新聞記事などについてです。また、大和駅北口開発についてのずさんな計画による契約議案も報告します。ずさんな計画や事業は、桜川のあちこちで見受けられますが、ずさんなための失敗が、私たちの住む桜川市を気づかないうちに、衰退させていることに注意しましょう。

### 水戸地検が桜川市を捜査

新聞記載のとおりです。12月5日の市議会全員協議会で、市当局から説明を受けました。前代未聞のことですが、私の住民訴訟だけでなく、市民の皆さんを始め、多くの方が関心を寄せていることに感謝します。

### ＜川股に対する攻撃、パッシングが強まっています＞

12月11日の一般質問で、私は次のように発言しました。「5日の全協で4人の議員の方から、検察に告発したのは川股だ、川股が悪い、というヤジが沢山ありました。ヤジがいけないとは申しませんが、ヤジを飛ばすならば、傍聴人がいない全協ではなく、この本会議でやってほしい。私が告発者というならば、証拠を示してヤジってほしい」。また「月光仮面のような正義の味方、良識を求める市民は沢山いる。私はその片隅にいるに過ぎない」と。

さらに、後ろ向きの議論は続けたくないの、水戸地検に全面的に協力し、早期に決着させて欲しいと、要望しました。

### ＜誤請求に係る検討委員会が12月末までに報告を取りまとめるよう求める請願は不採択＞

9月市議会で質問し、「活動報告13号」にも掲載しましたが、「検討委員会での調査検討の結果」を、12月末までに取りまとめるよう求める請願(川股は紹介議員)は不採択です。53人の署名の方、署名はできないが協力を頂いた方ありがとうございます。

不採択の理由は、「諸般の事情の具体的な説明を受けたうえ請願内容を審査したが、諸般の事情もあり、12月末までに報告書を取りまとめるのは不可能と判断した」とのことです。諸般の事情とは、検察当局の捜査を言うようです。

私は紹介議員として、「市そのものが調査せず、自浄能力がない、自らを正す能力がないと、議会が認めることは、罪を重くしかねないので、継続審議とすべきだ」と不採択に反対しました。

## 三セクへの不適切支出 地検、桜川市を捜査

桜川市などが出資する第三セクター「クラセル桜川」(同市鍛田)に対して市から不適切な支払いがあった問題に關連し、市は5日午後開かれた市議会全員協議会で、水戸地検から捜査を受けていることを明らかにした。複数の市関係者への取材でわかった。

クラセル桜川の代表を務める大塚秀喜市長は朝日新聞の取材に対して、捜査に全面的に協力していることを明かしたうえで、「やましいことはない」と話した。市は今年5月、クラセル桜川に対し、ふるさと納税の返礼品代を誤って支払っていたと発表。同社に出向した職員が、2022年度分の返礼品代について未払いがあると誤認して297万6千円を余分に請求し、市が同額を支払った、などとしていた。

複数の市関係者によると、5日の全員協議会では石川武彦副市長が、クラセル桜川の誤請求問題に關連し、水戸地検の捜査が入ったことを説明した。クラセル桜川をめぐっては、実態の伴わない業務委託費を市に請求して数百万円の損害を与えたとして、大塚氏が背任の疑いで刑事告発されていたことも判明した。

告発内容によると、市は22年度、特産物のPRを目的としたプロモーション事業の委託先として、クラセル桜川と随意契約を締結。同社は地元産のはちみつやコマを購入したとして市に代金を請求したが、事業とは別の用途に資金が使われた可能性があるとされている。地検は朝日新聞の取材

捜査に支障があるなどとして、議会での答弁を控えるよう促されたと話したという。クラセル桜川をめぐっては、実態の伴わない業務委託費を市に請求して数百万円の損害を与えたとして、大塚氏が背任の疑いで刑事告発されていたことも判明した。

告発内容によると、市は22年度、特産物のPRを目的としたプロモーション事業の委託先として、クラセル桜川と随意契約を締結。同社は地元産のはちみつやコマを購入したとして市に代金を請求したが、事業とは別の用途に資金が使われた可能性があるとされている。

クラセル桜川は21年2月に設立。特産物の生産・販売や飲食店経営を展開し、大塚氏は同年12月から代表に就いている。(原田悠旨)

### ●朝日新聞茨城版12月13日付朝刊

## 桜川市側、答弁避ける

### 三セクへの不適切支出 一般質問

桜川市などが出資する第三セクター「クラセル桜川」(同市鍛田)に対して市から不適切な支払いがあった問題で、石川武彦副市長は11日の市議会一般質問で、水戸地検

の捜査状況などを問われ、「諸般の事情により答弁することができません」などと繰り返した。市はクラセル桜川に対して、ふるさと納税の返礼品代297万6千円を誤

請求していたと5月に発表。市議が、同社の代表も答弁を求めたが、石川副市長が代わりに答弁。大塚氏は答えなかった。クラセル桜川をめぐっては、実態の伴わない業務委託費を市に請求して数百万円の損害を与えたとして、大塚氏が背任の疑いで刑事告発されている。(原田悠旨)

## 新庁舎の建設について

新庁舎の建設は、昨年12月の議会での建設費の増額（62億円→64億円）や一部工事の削除などをして、今年3月に入札不調（事業者が決まらない）となり、抜本的な見直しをしてきました。12月5日の全協での説明は概ね次のとおりです。

- ・面積を縮小する。8,276㎡（4階建て）→6,557㎡（3階建て）
- ・議会施設は、現在の大和庁舎の東棟を改修して使う。
- ・建設費（継続費）は64.43億円、設計費の増額0.55億円
- ・工期は令和6年度～10年度（2年おくれ） 現在の設計を生かしての設計・施工一体方式で12月中に入札公告する。

何故、これほど、建設費の増額、入札公告・取り下げ、一部工事の削減・入札公告、入札不調、設計の変更など、次々に問題が出るのでしょうか。これは、設計者に佐藤総合計画を選定したことに原因するのではないのでしょうか。

### ＜佐藤総合計画の経営体質と市の複合施設、新庁舎の二つの設計＞

佐藤総合計画は、2021年（令和3年）10月に、日大板橋病院の設計において、日大事業部の責任者に2.2億円を流出させたとして、この責任者は背任罪で起訴されています。同時期、市長選挙があり、開票所の観覧所にいた私は、桜田門（警視庁）の刑事2人が来ていたことを確認しています。何故いるのか、疑問に思っていましたが、この年の10月30日に岩瀬の複合施設（図書館など）の設計者に佐藤総合計画が決定したことが公表され納得しました。その後、2022年5月には、新庁舎の設計、積算も行うことも決まりました。

### ＜何が問題なのでしょうか＞

佐藤総合計画は、大手の事業者で各地の公共施設の設計を手掛けており、優秀な設計事業者と理解できます。しかし、日大板橋病院の件は、日本大学が民間であるから、罰せられないのであって、これが国・地方の政府機関ならば、贈収賄事件であり、桜川市の事業者に対する指名停止の措置要綱でも、12か月以内の指名停止となります。今の時代は、いくら安く、良い商品をつくるからと言って、「労働規則に違反して働かせている、海外の発注先が児童労働を行っている、事業者が低賃金で働かせている」など、社会的につくられてきたルールに反する企業とは、取引をしない、控える、というのが常識です。

佐藤総合計画については、ア) 複合施設の場合、変則型の設計・施工一体で公募しながら、その後、設計と施工分離型に変更する。イ) 発注の予定価格を決める積算業務も行っているが、見積もりが的確でなかった（そのため不調）。結果として、庁舎建設の大幅な遅れ、縮小など、市民の損害だけでなく、近隣の市町からの評価も大変気になります。

### ＜これらについての一般質問の議事録は全て削除です＞

佐藤総合計画についての質問は、事実ではないとされ削除。また、入札参加者を少なくしている地域の要因についての質問も議事録削除です。汚点や問題点を隠せば隠すほど、裸の王様になってしまうと心配ですが。

### ＜大和公民館は再開できるのでしょうか＞

新庁舎建設や耐震補強工事のために、10月から休館になっています。工事期間は10月から令和8年1月頃までとの「お知らせ」ですが、工事費の予算計上もなく、一般質問では、工事費や今後の方針は決まっていなとのこと。まさか、新庁舎工事に支障が出るとして、10年度まで閉館なのでしょうか。こんなところにも市民の被害が出ています。

## 長方地区のショッピングセンターについて

既に、直売所用地（0.8ha、5100万円）は土地開発公社が取得し、全体で8haの開発許可を得て、12月7日には地鎮祭が行われました。本当に、商業施設はできるのでしょうか。また、今回の議案で、4.8ha、約1億円の公園及び駐車場用地を取得します。本当に必要なのでしょうか。

### ＜商業施設開発は疑問だらけ＞

まず、県の中小企業課に大型店の届出を出していません。調整・指導があり、審査には1年ほどかかります。ベシアの出店が決まっているならば、先行してでも何故、出さないのでしょうか。次に、市の直売所・情報拠点、今頃になって「サウンディング調査」だそうです。さらに、造成工事費は2.9億円とのこと、市公用地だけでも3千万円以上です。公社の造成工事費は予算計上していません。「事業者の日計商事から見積書が来ないから」との答弁です。造成工事中の市公用地の使用賃貸借契約もありません。すべてはやっているふりだけです。民間企業は採算が見込めないならば出店しません。厳しく現実を見つめるべきです。私は、地権者とも相談し、多少とも見込みのある流通施設に転換するよう、意見を述べました。

### ＜公園、駐車場用地で1億円は必要でしょうか＞

大型遊具で遊びに来る方の駐車場が足りないので、台数不明の駐車場をつくり、そして、中身が不明の公園用地の取得です。整備費は5～6億円かかるでしょう。地元の方が望んでいる猿田小学校跡地の検討費はゼロ、高齢者のタクシー運賃助成金は2,234万円です。この議案に、川股、榎戸議員、他の1人が反対、その他の議員は賛成討論もなく賛成票です。一体どうなっているのでしょうかね。

## 詳細はHPでご覧ください

\*引き続き、桜川市の課題や議会活動を報告します。ご意見や市政の調査要望など、ご連絡ください。

〒309-1231 桜川市本木1448 川股 隆  
E-mail : kawamata27takashi@gmail.com  
電話 : 0296-58-7034  
H P : kawamata-takashi.sakuraweb.com



かわまた隆  
公式サイト



※このチラシは再生紙を使用しています